

# 1. 生活支援体制整備事業とは

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするための取り組み
- ・地域の支え合い活動や生活支援サービスを充実させることが目的
- ・吉見町では、事業の推進役として吉見町社会福祉協議会に2名の生活支援コーディネーターを配置
- ・吉見町では、地域の多様な主体と協働しながら体制整備を推進

## 2.生活支援コーディネーターの役割

(1)地域の支え合いづくりの  
推進

(2)生活支援サービスの  
把握と調整

(3)地域課題の  
発見と解決支援

(4)関係機関との連携・協働

## 2 .生活支援コーディネーターの役割 (その1)

### (1)地域の支え合いづくりの推進

- 住民・ボランティア・NPO・民間事業者などをつなぎ、協働を促進
- 地域における支え合い活動の立ち上げ・活性化を支援



## 2 .生活支援コーディネーターの役割 (その2)

### (2)生活支援サービスの把握と調整

- 見守り、外出支援、家事支援などのサービス状況を整理
- 必要に応じて関係者間の調整を実施
- サービス不足や課題の把握、新たな活動の創出を支援



## 2 .生活支援コーディネーターの役割 (その3)

### (3)地域課題の発見と解決支援

- 地域住民の声やニーズを収集
- 課題解決に向けた仕組みづくりをサポート
- 住民主体の活動が継続できるように運営面の支援も実施



## 2 .生活支援コーディネーターの役割 (その4)

### (4)関係機関との連携・協働



- 包括支援センター、行政、医療・介護関係者との連携強化
- 地域全体で高齢者を支えるネットワークづくりを推進
- 情報共有や協働の場づくりを支援

### 3 .期待される効果

地域の支え合い活動の広がり

高齢者の生活を支える多様なサービスの充実

地域課題の早期発見と解決

関係機関の連携強化による包括的な支援体制の構築